

# 庭野平和財団助成事業活動報告

2010年9月30日

アジアプレス・インターナショナル

事業責任者 石丸次郎

アジアプレス・インターナショナル  
〒530-0021  
大阪市北区浮田1-2-3 サブサイトビル303  
アジアプレス TEL/FAX(06)6373-2444  
出版部(リムジンガン)TEL/FAX(06)6224-3226  
e-mail: osaka@asiapress.org  
web: www.asiapress.org

## ①大阪 ワークショップ

2009年10月25日(日) 18:30~21:00

場所: エルおおさか

参加者 117名

## ○内容

- ・「北朝鮮普通の人々写真展」
- ・対談 石丸次郎と大阪在住の脱北帰国者「北朝鮮の人々はどんな暮らしをしているのか」
- ・脱北者と市民の交流ミーティング、テーマは「北朝鮮帰国者の暮らし思い」

アジアプレスが発行する、北朝鮮の民衆の暮らしを記録し、伝える季刊誌リムジンガンの北朝鮮国内記者たちが撮影した写真300点の中から50点を選んだ写真展を開催、会場では大阪在住の脱北者5人が北朝鮮での経験を語り、当初の予定を大きく上回る参加者117名が話に耳を傾けた。参加者の6割は50代以上、大学生の姿も見受けられた。

写真展では、北朝鮮に暮らすリムジンガン記者たちが、命がけで撮影した写真が説明つきで展示された。飢えのために畑から盗んだトウモロコシを食べる若き兵士たち、垢で真っ黒になったコチェビ(浮浪児)の兄妹、平壤近郊の刑務所外観から、富裕層の人びとの暮らしぶりまで、日本のメディアでは見られない北朝鮮民衆の写真に人びとは熱心に見入っていた。

同じ会場で行われた対談とシンポ「北朝鮮帰国者の体験を聞く市民交流集会」では、石丸次郎の司会のもと、北朝鮮の人々はどんな暮らしをしているのかを、元在日帰国者のキム・ソジャさん(女 60年代に12歳で中国地方から北朝鮮に帰国)、リ・ハナさん(女、北朝鮮生まれの帰国者2世 大学生)、パク・チュンシクさん(男 北朝鮮出身の脱北者 大学生)の3人、そして匿名希望の脱北帰国者2名が参加。それぞれ、幼少期から90年代の

過酷な体験を語った。

北朝鮮帰国事業が始まった当時、在日朝鮮人の7人に1人、9万3000人が北朝鮮へ渡った。だが多くが困窮にあえぎ、音信不通、行方不明になる人が続出した。その元在日帰国者が密かに脱北して日本に戻っていることを多くの参加者は知らなかった。

今回の催しでは、若い脱北者たちが初めて自らの悩みを人びとの前で語ったことが特注的だった。

「日本では北朝鮮といえば、強権政治、核問題、飢餓など悪いイメージしかない。差別を恐れて大学の友人たちに自分が北朝鮮から来たことを言えずにいる」の言葉に、涙をこぼす参加者たちも少なくなかった。

ミーティングでは、日本での定着・自立の問題点について脱北者、参加者双方が活発に意見を交わすという貴重な機会となった。

※別紙にワークショップ参加者のアンケートあり、個人情報抜いて感想部分のみコピーしております（41名）

## ②東京 ワークショップ

2010年4月9日（日）写真展 17:00～, シンポ18:30～21:00

場所：明治大学御茶ノ水学舎リバティタワー106号教室

参加者約120名

### ○内容

- ・「北朝鮮普通の人々写真展」
- ・対談 石丸次郎X大阪在住の脱北帰国者、「北朝鮮の人々はどんな暮らしをしているのか」
- ・脱北者と市民の交流ミーティング、テーマは「脱北者の日本定着と自立にむけて」

大阪集会とほぼ同様の趣旨、企画内容で開催。北朝鮮内部で撮影された写真約50点を展示。その後、北朝鮮からの脱北帰国者、北朝鮮に家族が帰国している在日コリアンたちが、石丸次郎の司会のもと体験を語った。会場は立ち見が出るほどの盛況で、交流のパートでは、予定を一時間近く超えて活発な意見交換がなされた。

参加した脱北北国者は、李サンボンさん（東京在住、三年前に日本に戻る）、上田つたえさん（千葉在住、在日朝鮮人の夫と北朝鮮に渡航、八年前に日本に戻る）、そして匿名希望の脱北帰国者二名、北朝鮮に親族が帰国している在日コリアンのシン・スゴクさん（東京在住、伯父二人が帰国）、チョン・ムンジャさん（東京在住、兄弟姉妹五人と両親が帰国）、匿名を希望する在日コリアン三人だった。

会場は明治大学のご好意で都心のリバティタワー内の教室を無料で借りることができた。（お世話になったのは、法学部の川島高峰教授）。多くの入場者があったが、残念なこ

とに学生が少なかった。

北朝鮮に帰国して脱北してきた方の過酷な体験に加えて、身内が北朝鮮に渡ったのち、親の死に目に会えなかったり、終わりのない経済的支援に疲れ果てた在日コリアンの辛い体験に会場からは嗚咽が漏れた。北朝鮮情勢いかんによっては、さらに多くの帰国者が日本に戻る可能性があり、受け入れと定住の問題でも活発な意見交換がなされた。

「脱北帰国者は日本に入ったあと、政府の公的支援は全くない。定住のための職業訓練、日本語学習への支援があればありがたい」

「法律がないのが問題。将来、日本に来たいと考える帰国者は何千人にもなるだろう。今から、その準備をしておく必要がある」

「まだ、北朝鮮に家族が残っているため、公の場でなかなか発言ができないし、写真に写るのも困る。しかし、在日コリアンが北朝鮮のために大変な苦難を受けたことを知ってほしい」

「日本と北朝鮮が国交正常化できていないこと、制裁のため往来や通信に支障が出ていることも知ってほしい」

「日本に生まれて北朝鮮に帰国した者は、日本語を覚えているので何とかやっていけるが、北朝鮮生まれの二世たちは言葉も習慣もわからず苦勞している」

脱北帰国者と、日本で家族を支えてきた在日コリアンからは、このような声が聞かれた。

一方会場からは、ボランティアで脱北者支援をやっている市民から、

「この10年で100人を超える帰国者が脱北して日本に来たが、成田空港への出迎えから、家探し、職探し、当面の生活の面倒まで、すべてボランティアでやっているのもう限界。支援者の目が行き届かず、孤独に悩む人やトラブルに巻き込まれる人も出ている。これから大勢の脱北者が日本に来るのは避けられず、早く対策を考えないと大きな問題になる」という声が聞かれた。他、50年間の北朝鮮生活の苦勞、どんな思いで日本のことを考えていたのか、日本社会が今すべきことは何だと思うかなど、質問がたくさん出された。

議論が白熱してしまい、アンケートを書いてもらうのを事務局が忘れるというボカがあったのが反省点。

### ③雑誌リムジンガンの発行。

残念ながら、助成金の報告期限までに、日本語版ムジンガン5号の編集が終えられなかった。リムジンガンは年内から年明けにかけての発行を目指し編集作業を進めている。この号には庭野平和財団の助成による「平和を祈るページ」を掲載いたします。

一方で、リムジンガンの英訳版は完成した。冒頭のリムジンガンの紹介のページに、「この本の翻訳費用の一部は、日本の庭野平和財団の助成を受けています」と明記した。本は総498ページの大著になった。印刷が完成するのは10月10日頃の予定。完成次第、一冊お送りいたします。

去年は、在日朝鮮人の北朝鮮帰国事業開始から50年という節目の年でした。このような時期に、当事者である脱北帰国者と在日コリアンが、一般市民と交流するというこれまでにない意義のある催しを、大阪・東京で運営することができ、まことに感慨深いものがあります。

運営に助成していただいた庭野平和財団に心から感謝いたします。

アジアプレス大阪事務所代表 石丸次郎 拝

# 収支決算書

## 大阪支出

北朝鮮国内写真展＋北朝鮮帰国者の体験を聞く会  
2009年10月25日(日)18:30～21:00エルおおさか

費目	金額	内訳
人件費	20,000円×1人=20,000円 8,000円×1人=8,000円 10,000円×3人=30,000円	朝鮮語－日本語通訳 会場設営補助への謝礼 証言者への謝礼
会場費	31,200円	エルおおさか 会議室
交通費	6,030円 1,000円×5人=5,000円	タクシー、電車(大阪市内)参加者交通費
写真展用器具、備品、プリント	1,050円 2,000円×20本=40,000円 1,500円×50枚=75,000円	プロジェクター用スクリーン 展示用ポール 写真プリント
資料費	50円×150部=7500円	コピー
消耗品費など	10,115円	写真展関連文具、雑費
合計	233,895円	

## 東京支出

北朝鮮国内写真展＋北朝鮮帰国者の体験を聞く会  
2010年4月9日(金)18:30～21:00 明治大学・リバティータワー  
(単位:円)

費目	金額	内訳
人件費	20,000円×1人=20,000円 8,000円×2人=16,000円 10,000円×3人=30,000円	朝鮮語－日本語通訳 会場設営補助への謝礼 証言者謝礼

旅費	26,200 円×2 人=52,400 円 7,000 円×2 人=14,000 円	東京—大阪新幹線2人分 東京宿泊—泊2人分
交通費	1,500 円×5人=7,500 円 都内移動 4,500 円	参加者都内交通費 (タクシー、電車)
運送費	3,580 円	宅急便
資料費	50 円×150 部=7,500 円	コピー
消耗品費など	6,000 円	写真展関連文具、雑費
合計	161,480 円	

リムジンガン英語版翻訳費への支出 100,000 円

---

支出合計 : 495,375 円

---

収入

大阪会場 資料代カンパ 500 円×117 人=58,500 円

庭野平和財団よりの助成 400,000 円

---

小計

収入合計 : 458,500 円

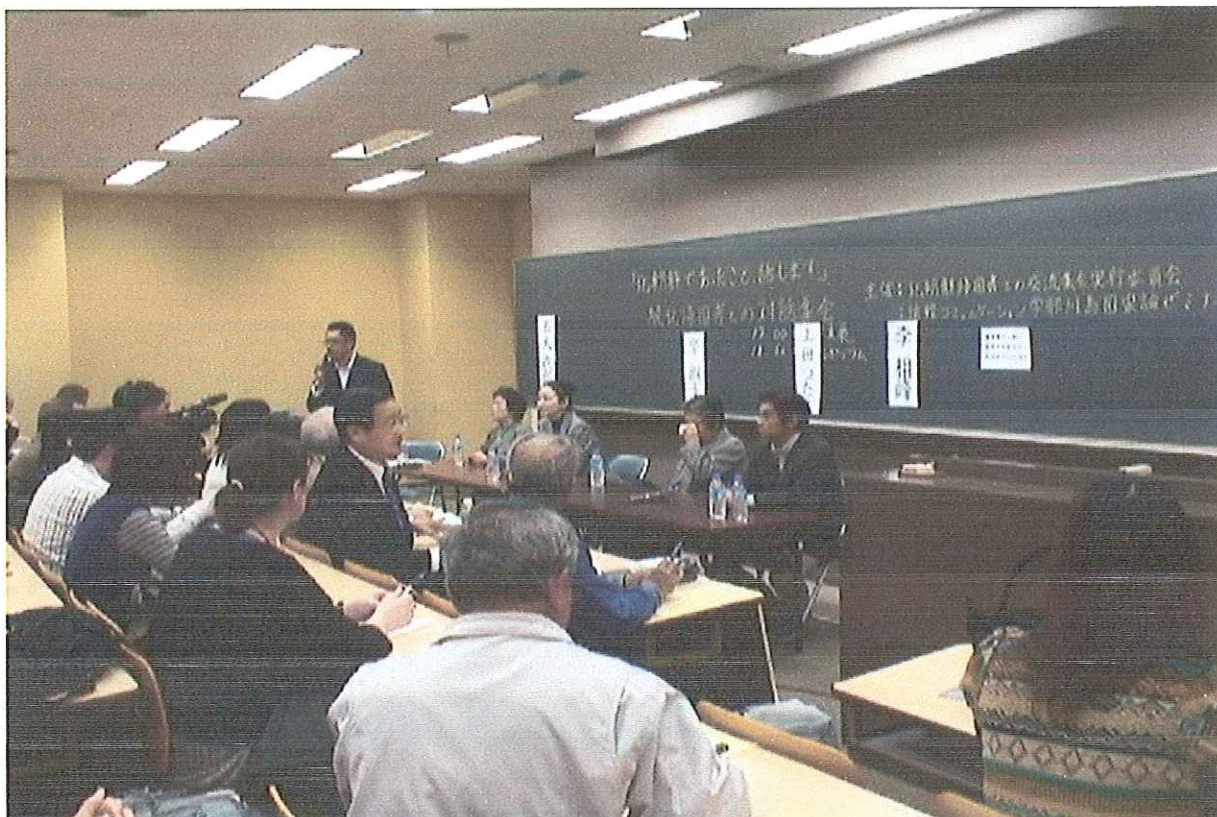
(収入)－(支出)

458,500－495,375＝ ▲36,875 円

以上、ご報告いたします。

2010 年 9 月  
アジアプレス・インターナショナル  
石丸次郎

東京会場 明治大学 2010年4月9日 ビデオ画像からのキャプチャーです。



見えにくいですが、黒板に「庭野平和財団の助成を受けた催しです」と書いて張ってあります。会場外の案内にも明記しています。





会場の後ろに写真パネルを設置しています。



責任者の石丸次郎です。